

講義名	アジア経済論			授業形態	
担当教員	辻 美代		開講期・曜日・時間	後期 火曜日 4 時間	
	単位数	2	履修開始年次	3 年生	ナンバリング

**主題と概要**

注意  
対面授業を行います。感染症拡大の状況によって、オンライン授業に変更することがあり、進め方、提出課題、評価の基準等は、当初の予定から変更されることがあります。RYUKA Portalの「講義連絡」によって通知しますので、こまめにチェックするようにして下さい。

中国は日本を凌駕し、米国と並ぶ世界経済のけん引役に躍り出た。ところが、現在、次世代技術覇権をめぐり米中は対立を深めている。米中対立は中国と関係の深い日本経済に深刻な影響を与えている。本講義ではアジア経済の新旧リーダーである日本と中国の関係にスポットを当て、アジア経済の発展を考える。授業では、東アジアにおける経済発展を「グローバル化」つまり投資・貿易を通じて考える。具体的には、繊維ビジネスを通じた東アジアの経済発展を考える。繊維ビジネスを取り上げるのは、一國の経済発展で最初に工業化されるのが繊維（アパレル）産業だからである。かつての日本がそうであったように、現在、中国繊維（アパレル）企業はアジア諸国への直接投資が始まり、アジア諸国にも発展のダイナミズムが及んでいる。とはいえ、中国は高度経済成長が終わり、また、米露との経済対立も深まるばかりである。繊維（アパレル）をはじめとした中国の代表的な産業と企業を取り上げ、中国経済発展のダイナミズムを講義する。

**到達目標**

学生は、戦後「東アジアの奇跡」と欧米から指摘されたアジアの経済発展メカニズムの概略が分かるようになる。世界経済に大きな影響を持つ中国経済の発展が分かるようになる。アジアにおける相互依存関係が分かるようになる。

**提出課題**

- ・授業中に課題を出し、次回授業時に提出してもらいます（数回予定）。
- ・授業終了時に確認テストまたは小テストをレスポンドで行います（毎回予定）。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

- ・課題は次回授業時に解説します。
- ・確認テストまたは小テストは次週の授業時に講評・解説を行います。

**評価の基準**

課題の提出、確認テストまたは小テスト、期末試験を総合して評価します。但し、状況に応じて評価の基準は変化することがあります。

- ・課題提出・・・・・・・・・・・・・ 2.0 点
- ・確認テストおよび小テスト・・・・ 4.0 点
- ・期末試験・・・・・・・・・・・・・ 4.0 点

**履修にあたっての注意・助言他**

先ず、日本（留学生は自国）に対して興味関心を抱くこと。自国への理解なく、他国への理解は不可能です。そして、中国およびアジア地域に興味を持ってください。テレビ・新聞・雑誌などを通じてアジアおよび世界に目を向けるようにしてください。

**教科書**

・教科書は使用しない。

**参考図書**

・転換期の中国の企業群像。	佐々木信彰	晃洋書房	2800	9784771030077
・中国・新興国ネクサス：新たな世界経済循環。	末広昭	東京大学出版会	5500	9784130461269

その他

**授業計画**

1. 授業の主題とアジア経済の動向
  2. アジアの発展と繊維ビジネス
  3. ASEANとNIES
  4. ASEAN共同体
  5. 中国の改革開放政策
  6. 中国WTO加盟
  7. 中国の経済発展、「世界の工場」から「世界の市場」へ
  8. 中間まとめと小テスト
  9. 繊維産業の発展と企業
  10. 繊維産業の発展と企業
  11. 産業の発展と企業
  12. 産業の発展と企業
  13. 米中貿易摩擦
  14. 中国経済の構造転換
  15. まとめ
- 状況により、授業計画を変更します。

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

予習：次回授業の予習（授業中に指示します）・・・30分程度  
新聞を読む・・・1時間程度（毎日10分）  
復習：授業で習ったことを、もう一度まとめ直してください・・・30分程度  
課題：授業中に指示します。図書館やインターネットで調べ、まとめてください・・・2時間程度

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

目標を達成することで、途上国における貧困問題の解決策を、「経済発展戦略」として提案することができるようになる。  
目標を達成することで、世界経済の動きを理解できるようになり、また、諸問題に向き合い、解決策を提案することができるようになる。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**